

M5Stack CORE2を使ってVRゲームを作る

2G14十川若菜

研究動機

- 元々ゲームを作りたいと思っていて、M5Stack CORE2とOculus Questが家にあったので活用したいと思ったから(M5Stack CORE2...タッチパネル対応の液晶画面があり、振動センサやマイク、スピーカなども内蔵されているマイコンボードの上位機種)

研究目的

- M5Stack CORE2とOculus Questを使ってVRゲームを作る



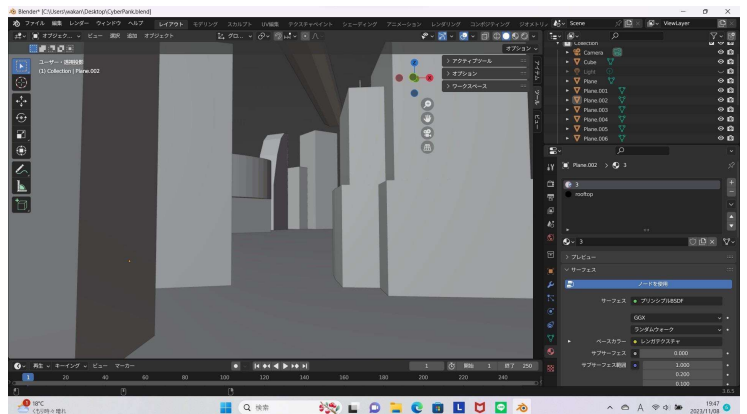
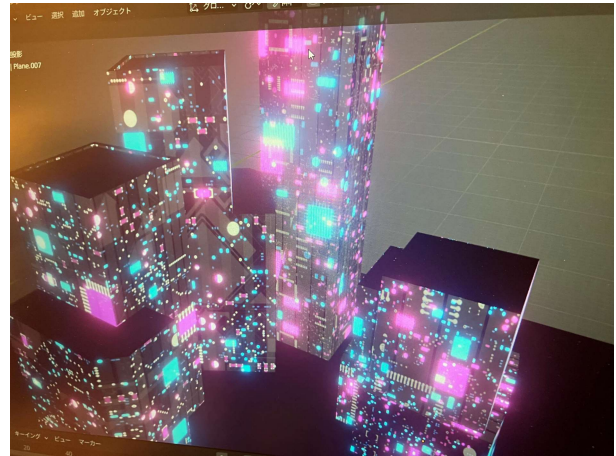
研究手法

- M5Stack CORE2でセンサーデータを取得してPCに送る
- UnityでC#を使ってプログラミングする

M5Stack CORE2を選んだ理由

Arduino UnoやRaspberry Piなどセンサーを使いやすいものもある中でM5Stack CORE2を選んだ理由

- 家にあったから
- 小さい画面がついていて単独でも動作確認がしやすい
- M5Stackなら市販のセンサーを接続してプログラムからデータを取得することができる



今後の展望

- ステージを作りこむ
- マイクを活用して周りの声が聞こえるようにする
- 余裕があればグラフィックを変更したい